

たった4人で令和元年の忘年会

宮原豊（9組）

平成最後の31年4月8日～10日に実施した「蕨の会」の仙台真田氏を訪ねる旅の準備もたけなわの3月13日に、「蕨の会」初参加を予定していた丸山隆平君（9組）の奥さんから「緊急入院をした。一命は取り留めたものの、4月の東北・仙台旅行は参加できない」との一報があった。しばらく様子を窺いつつ恐る恐る電話すると、大手術にもかかわらず3月末には退院、9組の赤尾晴夫君、塚田道明君と見舞いに行ったのが4月4日。近所の蕎麦屋で本当に軽くビール1杯だけで祝杯を挙げました。



その後、気にはしていたもののいつの間にか夏が過ぎ、秋が深まった頃に様子はどうかと電話すると、家の近くのジムに通って体力づくりに励んでいるとのこと。実際に会うと、実は前よりずっと元気そう。完全に禁煙しているようだ。本人はもう大丈夫だとは言うが、「夜、都心に出てくるのは奥さんが心配するだろう」と、前回同様に赤尾君と塚田君と一緒に丸山君の地元の料理屋で昼から軽く酌み交わし、近くのカラオケで2時間カラオケを楽しみました。前日同じコースで奥さんとリハーサルをしたそうです（感激）。

何とか令和元年を生き延びて年越し出来ることを喜び合い、久しぶりに徹底的に発散しました。いつものように小林旭からスタート、本来マイクハナサーズの丸山君もさすがに歌い疲れ、それでも仕舞はカラオケ最長の曲「信濃の国」で締め括りました。今回は、昼間から参加できる自由人（暇人）の4人だけでしたが、また来年も頑張って元気に生き永らえて、出来ることなら関東同窓会新年会や総会、また65期同期新年会や「蕨の会」に顔を出して、年末には恒例の「9組+aの忘年会」で皆に会おうと誓い合いました。

